

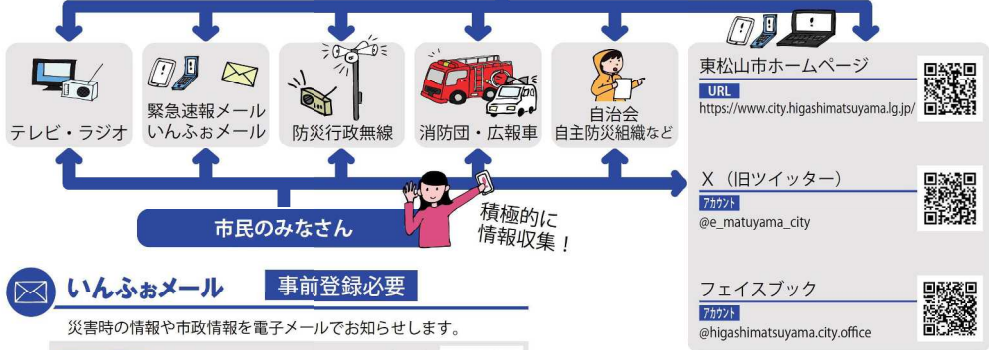
# 避難を助ける情報

## 情報の伝わり方

災害発生の際、危険が高まったときや災害発生時には、様々な方法で情報が発信されます。大切な情報を自ら入手できるように、平常時から確認しておきましょう。

国土交通省・埼玉県 <水位情報> 気象庁・熊谷地方気象台 <気象情報> 埼玉県 <県内の災害情報>

### 東松山市



## いんぷおメール 事前登録必要

災害時の情報や市政情報を電子メールでお知らせします。

メールアドレス: [higashimatsuyama@emp-sa.smart-igov.jp](mailto:higashimatsuyama@emp-sa.smart-igov.jp)

右の二次元コードを読み取るか、上記メールアドレスを直接入力し、空メールを送ってください。

## 緊急速報メール 登録不要

緊急情報を携帯電話に配信します。設定が必要な場合もありますので、詳しくは携帯電話会社にお問い合わせください。

## 気象情報・水位情報

気象情報や河川水位情報で水害のおそれがあると気づいたときは、避難情報が発令されていなくても、避難を検討しましょう。

### 注意報・警報・危険警報・特別警報

大雨などにより災害が起こるおそれがある場合、注意報や警報などの防災気象情報が発表されます。

大雨の状況  
雨が強くなる  
↓  
大雨が降り続く  
↓  
さらに激しい大雨が続く

<b>レベル2注意報</b> 大雨注意報、氾濫注意報、土砂災害注意報など
災害が起こるおそれがあると予想されたときに発表されます。
<b>レベル3警報</b> 大雨警報、氾濫警報、土砂災害警報など
重大な災害が起こるおそれがあるときに発表されます。
<b>レベル4危険警報</b> 大雨危険警報、氾濫危険警報、土砂災害危険警報など
重大な災害が起こるおそれが大きいときに発表されます。
<b>レベル5特別警報</b> 大雨特別警報、氾濫特別警報、土砂災害特別警報など
重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときに発表されます。

### 台風情報

台風は暴風や大雨等をもたらします。勢力が強く、大きい台風が迫っている場合には注意が必要です。

### 気象防災速報(記録的短時間大雨情報)

その地域に浸水の発生につながるような、めったにない大雨が降っているときに発表されます。

### 河川水位情報

	荒川 熊谷観測所	都幾川 野本観測所	碓氷川 入西観測所	高坂橋 高坂橋観測所	市野川 天神橋観測所	市野川 慈雲寺橋観測所
氾濫危険水位	5.50	5.00	3.20	4.60	19.58	17.90
避難判断水位	5.00	4.50	3.00	4.10	-	16.92
氾濫注意水位	3.50	3.50	3.00	3.50	19.25	16.50
水防団待機水位	3.00	2.00	2.00	3.00	18.00	15.30

各水位観測所の基準値 (m)

気象庁 (気象情報)  
URL: <https://www.jma.go.jp>  
TEL: 177

国土交通省川の防災情報 (河川カメラ・水位情報)  
URL: <https://www.river.go.jp>  
スマホ版: <https://www.river.go.jp/s/>

NHK データ放送 (dボタンを押す)

# 浸水被害を軽減する方法

浸水に備えて普段からできることがあります。

## 普段から

### 側溝や排水溝の清掃をしましょう。

雨水がスムーズに流れなくなると、雨水がたまり、浸水が発生します。普段から側溝や排水溝の掃除をして、水はけを良くしておきましょう。



### 保険・共済に加入しましょう。

浸水被害からの生活復旧には、想像以上の費用がかかります。水害に対応した保険や共済に加入しておくことで、生活復旧への支援が受けられます。



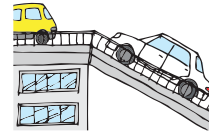
## 大雨が予想される段階

### 屋外の作業は大雨が降る前に

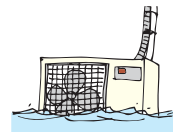
物干しざおや物干し台は寝かせ、風で飛ばされそうな植木鉢やゴミ箱などは、室内に入れておきましょう。窓や屋根の補強などは、早めに終わらせておきましょう。



家用車を早めに安全な場所へ移動しておきましょう。



エアコンの室外機や配線類から漏水の危険性があります。ブレーカーを落としておきましょう。



浄化槽に土砂や泥が浸入しないように、浄化槽のフタがしっかりと閉まっているか確認しましょう。また、プロアー (浄化槽ポンプ) の電源を切り、高い場所へ移動しておきましょう。



### 簡易水防工法で浸水を防ぎましょう。

簡易水防工法は、家庭にあるものを使って家屋への浸水や流入を防ぐ方法で、水深が浅い段階では有効です。玄関などの出入口のみならず、床下への浸水の防止も重要です。

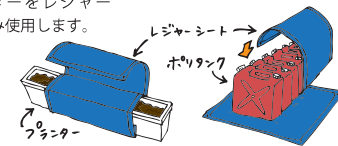
出入口に板などを設置し、浸水を防ぎます。



40リットル程度の容量のゴミ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。これをダンボール箱に入れ、連結して使用します。



水を入れたポリタンクや土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。

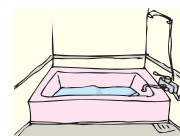


### 思わぬ場所からの浸水を防ぎましょう。

建物の周辺が浸水すると、下水が逆流して、排水口などから水が噴き上がることがあります。水を入れたビニール袋などを置いて、逆流を抑えましょう。



風呂の浴槽の水は流さずに溜めておきましょう。下水の逆流を防ぐことができ、生活用水としても利用することができます。



### 大事なものを高いところへ上げましょう。

水に浸かってしまうと、家財や家族の思い出の品も一瞬にしてゴミと化してしまい、浸水後には街中がゴミであふれかえることになります。できる限り家財を高いところへ上げましょう。

